

# 健全な財政運営を

問合せ

財務課

☎245 2 2 5

## 決算規模、一般財源の総額及び 実質公債費比率

市では、一般会計、育英資金貸付特別会計、亜炭鉱害復旧施設維持管理事業特別会計、工場用地等整備事業特別会計及び公共用地先行取得事業特別会計を合算した「普通会計」における「平成20年度財政想定・計画」を策定しました。この計画の平成21年度から平成25年度までの5か年計画についてお知らせします。

### 歳入

地方税や地方譲与税、地方交付税などの一般財源※1の総額は、平成21年度以降もほぼ同額が確保される見込みです。

### 歳出

平成20年度にスタートした「総合計画」を具現化するための事業を展開することが可能です。

### 実質公債費比率※2

市税収入が減少したことによって昨年度想定した比率よりも上昇するものの、国が定める適正基準である18パーセント未満で推移する見込みです。

## 市債残高の推移

市の借入金である市債の残高は、合併後数年間は新市の一体感や均衡ある発展に必要な整備を行うために増加傾向にあります。しかし、平成25年度をピークに減少する見込みです。

また、臨時財政対策債を除く実質的な市債残高は、平成21年度をピークに減少する見込みです。

### 《実質的な市債の残高》

臨時財政対策債の借入れにかかる費用は、国が全額負担することになっているためこの費用を除く市債の残高が実質的な市債の残高となります。

## 補償金免除繰上償還に係る軽減額

本市の平成19年度における繰上償還額は、総額で約16億円となりました。これに伴う公債費(利子)負担の軽減効果額は約2,600万円でした。

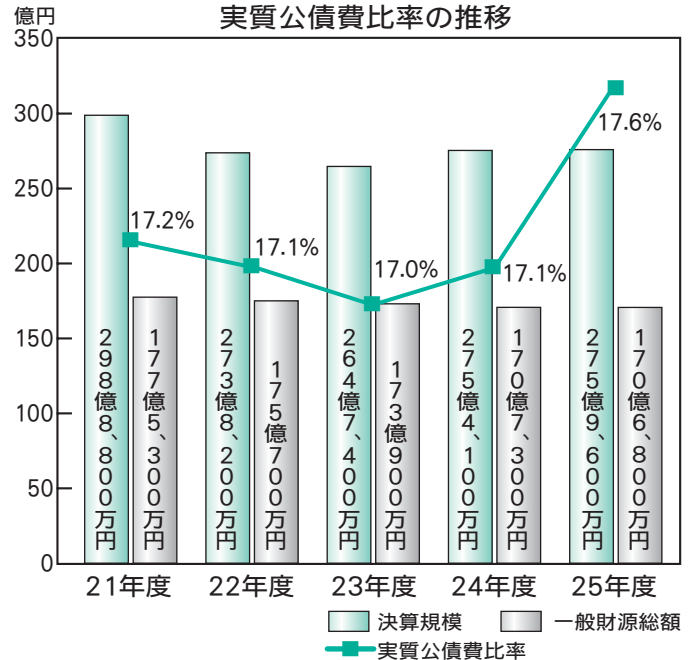


### 市ホームページをご覧ください

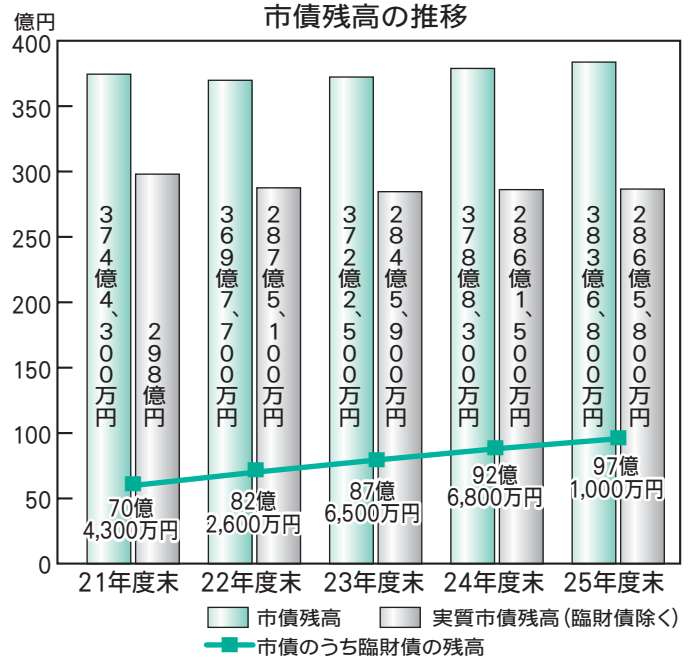
詳しくは、財務課のページ「公的資金補償金免除繰上償還」をご覧ください。

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/zaimu/zaimu.jsp>

決算規模・一般財源総額及び  
実質公債費比率の推移



市債残高の推移



### 用語解説

#### ※1 一般財源

財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用できる歳入。

#### ※2 実質公債費比率

公債費や公営企業債に対する繰上償還額など、公債費に準ずるものを含めた実質的な自治体の公債費総額による比率。

# 男女共同社会を 目指して⑥



男女共同子ども課 ☎ 24 5 2 1 5

市では、市民一人ひとりが個人として尊重され、ともに参画し責任を担う男女共同参画社会の実現を目指し、具体的な取組みと施策の方向性を示した「南相馬市男女共同参画計画」を3月に策定しました。

計画の目標の一つに「男女がともに家庭と仕事を両立できる環境づくり」を掲げ、就労環境の整備を促進することとしています。個人の仕事と生活の調和の実現には、企業の理解や取組みが欠かせません。

今月号では、男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業を紹介します。



▲あぶくま信用金庫の窓口

## ワーク ライフ バランス 仕事と生活の調和に向けて

— あぶくま信用金庫の取組み —

### 早帰り運動で仕事も生活も充実

平成20年1月から繁忙時期以外は定時退社に努める「早帰り運動（エコ・チャレンジ）」に取り組んでいます。

この運動は、地球温暖化防止対策の一環として、二酸化炭素の排出量を削減する目標を設定するとともに、残業の削減を図り、メリハリのある働き方の推進に努めています。

また、男女共同参画の視点では、次のような効果がもたらされています。

#### ●自己啓発、趣味、地域活動への参画

余暇を利用して意欲的に自己啓発を行い、資格取得へチャレンジしたり、趣味や地域活動に参画したりすることができます。

#### ●男性職員の家事、育児への参画

女性の負担に偏りがちな家事や育児などを男性を含め家族全員の協力によって担うことができます。

#### ●心身の健康維持

仕事をするうえで欠かせない心身の健康を維持することができます。

### 子育て学習講座を活用し 仕事と生活の調和を

市が実施する「子育て学習講座」を活用し、桜の聖母短期大学の西内教授を講師に迎え「子育ては愛された自分さがし」をテーマとした講座を開催しました。

講座には、子どもを持つ女性職員を中心に40人が受講し、子育てと仕事を両立するうえで抱える不安や悩みを解消するきっかけとなったようです。

このように企業が仕事と生活の調和への取組みを実践することによって、職員の満足度をはじめ仕事への意欲の向上や時間管理能力の向上などのメリットがもたらされています。

#### ●●● 受講した感想 ●●●

- ・子育てと仕事で毎日が大変です。周囲に支えられて仕事を続けられることに感謝しています。子育てを楽しみ、今の時間を大切にしたいです。
- ・命や生きることの大切さを子どもに教えていきたいです。これからの私自身の生き方を見直すチャンスとなりました。

(受講者アンケートから抜粋)